



## 災害時の準備に余念なく取り組みましょう

ぜんこくかくち きろくてき おおあめ かせん はんらん どしゃさいがい  
全国各地の記録的な大雨で河川の氾濫や土砂災害。阿蘇山の噴火。頻繁に多発する地震。日本も災害に備えざる得ない状況になって来ています。

ひのき工房でも10月22日（金）に、抜き打ちの避難訓練を実施しました。今回は、地震が発生した後に火災が発生したという設定です。まず落下物から身を守る行動、ガラス付近からの回避などの行動の後、火事発生での屋外避難になりましたが、利用者さんも誰1人ふざける事なく淡々と非難して頂きました。避難完了時間は4分20秒。後の反省点として、備え付けのヘルメットの配布が間に合わなかった事、車いすの屋外避難後 建物からの距離の確保の甘さ（砂利道への検討課題になりました）、非難はしごの設置のロスなど、ひのきとして強化しなくてはいけない点は まだあります。避難する状況が来ない事を願いながらも、日頃の心構えを維持していきましょう。

## しょうがい すこ かんが 障害について少し考えよう！⑤

こんかい  
今回のテーマは「ハラスメント」です。

現代社会ではニュース等でも取り上げられているので、耳にしたことがある人も多いと思います。福祉や介護職に携わっている私も、ニュースで弱者である利用者さんへ矛先が向かった映像を目にし凄く心を痛めました。

ハラスメント（Harassment）とはいろいろな場面での『嫌がらせ、いじめ』を言います。その種類は様々ですが、他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与えることを指します。どのような注意が必要でしょうか？

### 『セクシュアル・ハラスメントとは？』

セクシュアル・ハラスメントとは、本人が意図する しないにかかわらず、相手が不快に思い、相手が自身の尊厳を傷つけられたと感じるような性的発言・行動を指します。

注意点として：個人的な詮索を意図した会話や発言に注意する。

「休みは何をしているの？」「髪型 変えた？」「そろそろ子供産まないかね」

「スタイルがいいですね」何気ない会話ではありますが、オフィシャルな現場でのプライベートの検索は無用です。ひのき工房では、利用者さんのトイレ介助（同性）などプライベート感が強い場面もあります。ふとした発言で利用者さんを傷つけ無いようにしましょう。相手と自分の温度差がある事を認識しましょう。

### 『パワー・ハラスメントとは？』

同じ職場で働く者に対して、業務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に業務の適正な範囲を超えて、障害的・身体的苦痛を与える、または職場環境を悪化させる行為と言う定義です。

注意点…日頃のコミュニケーションや、ミーティングの会話の中で今自分が抱えている仕事量を、職員間同士で大まかに共有し、相手の立場になって考え「悪いけど、ついでにこれもやっというて」など むやみに雑用を頼まない配慮。

進めていくうちに 全力で取り組んでも、自分1人では駄目だと判断した場合は、まず理事長に助けを求めましょう。

「それは君を信頼して あえて与えた大事な案件だ、これを成し遂げる事により、数年後の君は大きな自信とスキルを得ることになるだろう。」パワハラ？

「え～！しかし完成が…（汗）ひのきがダメージを被るのが怖いんですけど～（涙）」

と、再び案件に取り掛ると「何件かの書類は俺が打っというてやるよ」「本当っすか！」

「この資料があると楽でしょ」「楽！」など、知らない内に同僚が現れることもあります。（知らない内になって…笑）直接の職員同士でも皆 助けてくれます。が！まず理事長なのです！（進展状況の把握にも繋がってきます）長くなってしまいましたが、

後 大事な事。9月から新人が2人入って来ました。先輩風を吹かせたがる私（長塚）などが、無意識に雑用などを頼んで…（汗）…いないか？

利用者さんにも、「自分で出来ることは安易に他人に頼まない！」と言っている私ですので気をつけなければなりません。

利用者さんも、嫌な事がありましたら我慢など無用です。

「不平・不満・愚痴」は理事長をはじめ全ての職員はあなたの話を真剣に傾聴します。

# 元気の出るメインイベント「秋の感謝祭！」

「いや～この日が来るのが長かったな～」と思う程 楽しみに待ってましたよ！  
開催前日まで、去年の炭火焼きの味が長い間 残ってましたからね（笑）

当日、朝起きたら冷たい雨ですよ（涙）ですが！ご安心下さい。事前から あらゆる状況を想定し準備に準備を重ねてきた、ひのき工房の職員のスペックの高さで 盛り上がったままの温度で、利用者の皆さまを Welcome する事が出来ました。

当日は、秋晴れ！皆さんの Enjoy したいと言う 熱い思いに、雲も近づけなかったんでしょね。

まず、開会式が始まる前の 利用者さんへのインタビューですよ。

「純君、今日はどうですか？何を楽しみにしてますか？」「何でも楽しみです」

「当たり障りのないご意見有難うございます。」

皆さん各ブースの事前下調べに余念がなかったです。「今回の射的のお菓子はセンスがいいね」「当たんなきゃあげないよ（笑）」「若干 もう良い香いしてない？」「Me too」そして、施設長の開会宣言が始まりました。

コロナ禍。開会出来た事への感謝で皆さん静かに聞き入っていました。

「さてと！」

どこのブースから紹介しちゃいますかね。新人の木原さんが、アイデアを出して作製してくれた。職員の似顔絵オセロから。ビックリしましたよ！ダンボールで作った大きめの駒に職員の顔が、ドアップで張ってあるじゃないですか。表には●●職員裏には●●職員（そういえば顔のドアップ撮られたな）。顔が入るだけで、オセロが急にスポーツ感覚。「小笠原君。がんばって！私の顔が減ってきてるよ」「●●君！

「俺の顔を全面に打ち出すのだ」これだけ白熱するオセロも珍しいですね。

木原さん「Good Job！」

そして、BGM的に流していた、お洒落な映画「バクダッド・カフェ」通りすがりに、眼に入ってく内に、何人かの アダルトな映画ファンが見入っていましたね。これもこれで、「食事しながらの映画鑑賞も悪くないよ」なんてお言葉も頂きました。